

No	作品	作成者による作品の説明
1	つなサポ	・ つながるの「つな」、札幌の「サポ」から。サポートの意も ・ 「つながる札幌」の略称で、親しみやすく覚えやすい。キャッチコピー例:「つなサポで、心がつながるまちへ」 ・ 「つなサポ」は、「つながる」と「札幌」「サポート」「サポーター」をかけ合わせた愛称です。シンプルで覚えやすく、子どもから大人まで親しめると思います。誰もが支え合い、ちがいを認め合って生きていける札幌のまちづくりを、やさしく、軽やかに伝えるネーミングです。 ※3名から同一作品の応募あり
2	さっぽろ誰とも条例	誰もが、誰とでも、安心して繋がりあいながら、共に生き、共に暮らせる共生の街づくりを目指す条例だという事が直観的に伝わるような愛称を考えました。
3	ともに支え合うまち札幌	「ともに支え合うまち札幌」は、年齢や性別、国籍、障がいの有無に関わらず、すべての人が互いを認め合い、支え合いながら安心して暮らせる共生社会を目指す思いを込めた愛称です。多様性を力に変え、誰もがつながり合い、笑顔で暮らせるまちを市民とともに築いていく札幌の姿勢を表しています。
4	つながるさっぽろ条例	誰もがつながり合えるまちづくりの理念を、「つながる」というわかりやすい言葉で表現しました。ひらがなの「さっぽろ」を加えることで、子どもにも親しみやすく、地域との結びつきが伝わりやすい愛称です。
5	てとて条例	「手と手を取り合って共に生きる」というメッセージを込めました。文字数が少ない方がシンプルで使いやすいかと思いました。
6	つながりあい条例	「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」から「つながり合う」の文字を取って「つながりあい条例」とした。「あい」の部分をひらがなにしたのは、思いやり・愛情を意味する「愛」と、主体性（市民一人ひとりが社会に貢献する意志）を意味する「I（アイ）」を表現するためである。